

# 広島工業大学

URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/>

〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広報部 TEL 082-921-3128



## 新しい未来に挑戦する未来創造力を磨き、「未来の、その先をつくる。」人材を育成

### Ranking

全国 第13位 西日本 第3位 中国・四国・九州 第1位

### 卒業後の進路

2024年実就職率  
(卒業生数1,000~3,000人未満の大学)

広島工業大学の就職支援は入学直後から始まります。低年次から各業界の企業や工場を訪問することで、企業と接点を多く持ちながら、学びと社会とのつながりを認識し、職業観を養成。進路選択の幅を広げながら、インターンシップなどを通して技術者として必要とされる専門力に加え、社会人として必要な力を企業と連携して培っています。

こうした就職支援の土台となっているのが、各学部・学科の学びです。キャリアデザイン科目を設置し、1年次から各学科の学びと実社会を結びつける講義を導入することにより、学びを社会にどう生かすべきか、自らの将来像を描きながら専門知識を深めていきます。



また、各学科で就職担当教員を配置するなど、学科主体の就職支援体制を整備することで、学生を一人にしないサポートを実現しています。

また、さまざまな業界で

AIの利活用が急速に進む中、広島工業大学では全学部全学科が1年次の必修科目として、AI・データサイエンスを学ぶ授業を開講。さらに高度な技術を修得したい学生は、3年次の選択科目で応用を学ぶこともできます。他にも、県外で就職活動を行う際の旅費の支援など、遠方での就職活動も積極的にサポート。女子学生の主体的な活動をバックアップする女子学生キャリアデザインセンターもあり、毎年高い就職率を維持しています。

学生への支援制度だけでなく、就職先の開拓や企業との情報交換なども積極的に行っています。合計で約400社の企業が参加する業界研究会や学内合同会社説明会に加え、同大学教職員と企業の人事担当者の情報交換会では、採用動向などの最新情報をお互いに共有。卒業生の相談にも応じており、離職率の低減に向けた取り組みも行っています。

このような体系的な教育と万全のサポート体制を整備することで、社会の変化にフィットする就職スキルの獲得や学生に応じたキャリアデザイン支援に繋げ、高い就職率を実現しています。

### 学部/学科情報

- 工学部/電子情報工学科※、電気システム工学科※、機械情報工学科※、環境土木工学科、建築工学科
- 情報学部/情報工学科、情報システム学科※、情報マネジメント学科※
- 環境学部/建築デザイン学科、地球環境学科※、食健康科学科※  
※2025年4月設置

### 主な Ranking Data

|                           |   |               |
|---------------------------|---|---------------|
| 2024年著名400社業種別実就職率(建設・住宅) | 卒 | 中国・四国・九州第1位   |
| 2024年臨床工学技士国家試験合格者数       | 国 | 中国・四国第3位      |
| 生徒に人気がある大学                | 進 | 中国・四国工科大第2位   |
| 入学後、生徒の満足度が高い大学           | 進 | 中国・四国私立工科大第2位 |
| 学びたい学部・学科がある大学            | 受 | 中国・四国私立大第3位   |
| 実学教育が充実している大学             | 社 | 中国・四国私立大第3位   |

### Ranking

中国・四国私立工科大 第2位

### 進路指導教諭編

### 面倒見が良い大学

広島工業大学では、学生一人ひとりの目標実現に向けたサポートが充実しています。同大学では、履修やキャリア形成の支援を目的として教員のサポートを受けながらパソコンを使用して目標や活動内容を記録する、大学オリジナルのポートフォリオシステム「HITPO (ひとぽ)」を導入しています。教員と情報をオンラインで共有することによって、アドバイスを受けながらステップアップできる仕組みを形成しています。

また、広島工業大学では高校までの学びに不安を持つ学生が安心して学べるように、教育学習支援センター(通称:LACナビ)を設置。個別に指導や相談ができるため、多くの学生が活用しています。

他にも、学生同士が悩みを共有し、助け・学び合う「ピアサポーター」制度や、学生約10人に対して教員1人が担当する少人数制指導の「チューター」制度など、一人ひとりが快適なキャンパスライフを過ごせるような仕組みを整備。こうしたサポートが同ランキングの成果に表れています。